

指定管理者制度活用事業 評価シート

1. 基本事項

施設名称	れいんぼう川崎	評価対象年度	令和元年度
事業者名	・事業者名 社会福祉法人川崎市社会福祉事業団 ・代表者名 成田 哲夫 ・住所 川崎市高津区久地3-13-1	評価者	障害計画課長
指定期間	平成28年4月1日～令和3年3月31日	所管課	健康福祉局障害保健福祉部 障害計画課

2. 事業実績

利用実績	生活介護・施設入所（定員60名） 契約者数59名（令和2年3月31日現在） 短期入所（定員10名） 延利用者数 2,605名 自立訓練（定員20名） 契約者 32名（機能訓練1名、生活訓練31名） 在宅リハ訪問件数 532名、診療延件数1,759件																																				
収支実績	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">収入</th> <th colspan="2">支出</th> <th rowspan="2">収支差額</th> </tr> <tr> <td>福祉事業活動</td> <td>754,973千円</td> <td>福祉事業活動</td> <td>751,750千円</td> </tr> <tr> <td>給付費</td> <td>420,465千円</td> <td>人件費</td> <td>435,510千円</td> <td rowspan="6">-4729千円</td> </tr> <tr> <td>川崎市独自扶助</td> <td>120,847千円</td> <td>事務費</td> <td>66,560千円</td> </tr> <tr> <td>指定管理委託料</td> <td>123,397千円</td> <td>事業費</td> <td>64,630千円</td> </tr> <tr> <td>拠点区分間繰入金</td> <td>55,530千円</td> <td>拠点区分間繰入金</td> <td>185,050千円</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>34,733千円</td> <td>施設整備等</td> <td>7,951千円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>754,973千円</td> <td>合計</td> <td>759,702千円</td> </tr> </table> <p>※端数処理のため合計が一致しないことがあります。</p>	収入		支出		収支差額	福祉事業活動	754,973千円	福祉事業活動	751,750千円	給付費	420,465千円	人件費	435,510千円	-4729千円	川崎市独自扶助	120,847千円	事務費	66,560千円	指定管理委託料	123,397千円	事業費	64,630千円	拠点区分間繰入金	55,530千円	拠点区分間繰入金	185,050千円	その他	34,733千円	施設整備等	7,951千円	合計	754,973千円	合計	759,702千円		
収入		支出		収支差額																																	
福祉事業活動	754,973千円	福祉事業活動	751,750千円																																		
給付費	420,465千円	人件費	435,510千円	-4729千円																																	
川崎市独自扶助	120,847千円	事務費	66,560千円																																		
指定管理委託料	123,397千円	事業費	64,630千円																																		
拠点区分間繰入金	55,530千円	拠点区分間繰入金	185,050千円																																		
その他	34,733千円	施設整備等	7,951千円																																		
合計	754,973千円	合計	759,702千円																																		
サービス向上の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・30年度に実施した業務日課の見直しから、元年度は「入所のしおり」の中で、個別対応の案件について一定のルールを設ける等の改訂につなげ、業務の効率化を図った。 ・自立訓練事業では、20代の利用者グループ(5名)を対象に、半年間にわたって生活管理や生活技術、対人スキルといったテーマに沿って週1回講義を聞いたり、話し合いの場を設けるという社会生活プログラムを実施した。その結果、他のメンバーとの比較の中で自分を見つめることができ、それぞれの前向きな変化につながっている。 																																				

3. 評価（評価段階：5～1.標準：3.加点割合：5→100%,4→80%,3→60%,2→40%,1→0%）

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
総合的な運営状況	利用者への支援	利用者に対する支援を着実に実施しているか	10	4	8
		利用者の障害特性に応じた個別支援等を実施しているか			
	事業成果	基本協定に規定する業務の範囲を適切に実施しているか	10	5	10
		指定管理施設としての事業目的を達成することができたか			
<p>（評価の理由）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談支援については、多種多様な相談を受け付け、障害福祉サービスではフォローしきれないケースや、家族・本人等からの一時相談にも対応した。また、他の専門機関を含めた関係機関と連携し、切れ目のない支援を心掛けた。 ・自立訓練事業については、身体・精神機能の維持・向上という視点だけでなく、日々の生活を送る上での技術を身につけるための具体的な体験を提供しており、その人らしい生活が送れるよう支援した。実際に、年度当初は送迎車を利用していた利用者が、練習の結果、公共交通機関を使つての通所に至っている。 ・元年度より、体重管理に難渋していた利用者に対し、安静時呼吸代謝測定と身体組成分析を行った。その結果に基づき、摂取エネルギーを調整したことで、適切なBMI値に変化した。また、これらの成果を日本リハビリテーションセンター栄養学会学術大会で報告を行った。 ・元年度より、地域の支援者との関係性の構築を兼ねて、近隣の地域包括支援センターとの交流会を企画し、事例検討会を2回実施した。れいんぼう川崎を会場にしたことで、入所利用者との交流の場になるなど、新たな展開を図ることができ、今後も実施予定である。 					
収支状況	支出状況	計画に基づく適正な支出が行われているか。	5	3	3
		支出に見合う効果等が図られているか			
	収入状況	計画通りの収入が得られているか	5	3	3
		条例に基づく利用料等を適切に徴収しているか			
適切な会計手続	会計基準に基づく会計処理がなされているか	5	3	3	
	事業収支に関して適正な会計処理が為されているか				
<p>（評価の理由）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支出については、施設の経年劣化に伴う故障箇所の修繕を実施したが、予算内で適正に執行している。 ・収入については、新型コロナウイルス感染症の拡大のため利用者数が一時減るなどの理由で、見込みを少し下回ったが、ほぼ予算通りであった。 ・法令や法人の経理規程に則り、会計監査人による監査など適正に金銭管理が行われた。 					

サービス体制	適切なサービスの提供	提供すべきサービスが仕様書や実施計画等に基づいて適切に提供されたか	10	4	8
		利用者への支援を適時かつ十分に行っているか			
	サービス向上への取組み	現状分析、課題把握等を常に行っているか	5	5	5
		サービス向上に向けた取組みがなされているか			
利用者の意見・要望への対応	意見・要望の収集方法を確立しているか	5	4	4	
	利用者からの要望や意見に対して、迅速かつ適切に対応しているか				
<p>(評価の理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北部リハビリテーションセンター・南部地域療育センターと共に合同ケース検討会を月1回実施し、地域による対応の差が出ないように努めるとともに、支援手法や関係機関との連携のあり方等について意見交換を行うなど、支援技術の向上を図っている。 ・障害当事者がスポーツを通じて地域において交流する拠点を増やす目的で、年1回のボッチャ大会の開催や、障害者通所施設への職員派遣など、ボッチャに取り組む拠点づくりに努めた。こうした取組について、他施設や他団体の反応は良好で、リピートも多く受け付けている。 ・利用者との日々の会話やアセスメントを通して意見・要望を聞き取ることを基本とし、また、意見箱を2か所設置している。さらに、利用者満足度調査を毎年行い、その結果と改善の取組について事業説明会で報告している。また、令和3年度からの譲渡に関する説明会も実施し、利用者等からの理解を得ている。 					
組織管理体制	適正な人員配置	必要な人員が必要な場所に適切に配置されているか	5	3	3
	連絡・連携体制	所管課との連絡・連携が十分に図られているか			
	担当者のスキルアップ	業務知識や安全管理、法令遵守に関する研修等が行われているか	5	4	4
	安全・安心への取組	事故、犯罪、災害等から利用者を守ることができる適切な安全管理体制となっているか(人員配置、マニュアル、訓練等)	5	3	3
		緊急時の連絡体制を構築しているか			
	コンプライアンス	法令遵守のルール(規則・マニュアル等)と管理・監督体制が整備され、適切な運用が為されているか	5	3	3
職員の労働条件・労働環境	スタッフが業務を適正に実施するための、適切な労働条件や労働環境が整備されているか	5	3	3	
<p>(評価の理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員の資質向上については、研修委員会の計画に基づき内部・外部の研修を積極的に受講できるよう取り組まれている。また、学会や研究会での演題発表や講師派遣など、専門職としての自己研鑽につながっている。 ・事故を未然に防ぐ観点からケアマニュアルを作成し、危険の予知と注意事項を手順に盛り込んでおり、事故が発生した際は迅速かつ適切な対応ができるようにしている。事故防止検討委員会を月1回開催し、関係職員への周知や指示を徹底している。 ・災害に対する取組として、消防署立会いのもと夜間の火災を想定した訓練を行い連携を確認したほか、地震を想定した訓練も実施している。平成30年度に作成したBCPを改定し、大規模災害時に混乱を少なく、業務の継続ができるように備えた。 					
適正な業務実施	施設・設備の保守管理	安全な利用に支障をきたすことのないよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に実施しているか	5	3	3
	管理記録の整備・保管	業務日誌・点検記録・修繕履歴等が適切に整備・保管されているか	5	3	3
	清掃業務	施設内及び外構の清掃が適切に行われ、清潔な美観と快適に利用できる環境を維持しているか	5	3	3
	警備業務	施設内及び敷地内の警備が適切に行われ、事件・事故・犯罪等の未然防止に役立っているか			
	備品管理	設備・備品の整備や整頓、利用者が使用する消耗品等の補充が適切に行われているか	5	3	3
<p>(評価の理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設・設備の定期保守点検等、外部委託している業務は予定どおりに実施され、不具合の報告を受けた場合も迅速に対応している。また開設から20年以上経過する中で、給湯器や空調等、利用者の生活に大きな影響を及ぼす機器類については、設備機器の不具合が頻発するが、その都度川崎市と連絡を行い、迅速に対応している。 					

4. 総合評価

評価点合計	72	評価ランク	B
-------	----	-------	---

評価点合計:100点満点,標準点:60点

評価ランク:A~E,標準::C,A→80点以上,B→70点以上80点未満,C→60点以上70点未満,D→40点以上50点未満,E→50点未満

A→特に優れている,B→優れている,C→適正である,D→改善が必要である,E→問題があり適切な措置を講じる必要がある。

5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

・在宅リハビリテーション事業と自立訓練事業を1つの事業所で行っており、多様な専門職によるチームアプローチがしやすい強みを活用し、住み慣れた地域でその人らしく生活できることを目標に、利用者一人ひとりのライフスタイルに応じた質の高い支援を行っている。
・支援の中で獲得した知識・技術を講師や学会発表、論文執筆の形で関係者に還元し、れいんぼう内外で専門職の育成支援に積極的に取り組んでおり、当事者や家族を地域全体で支える仕組みの構築に寄与している。

6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

・施設譲渡後も引き続き、利用者一人ひとりのライフスタイルに応じた必要な生活が送れるよう専門性の高い支援を継続していくこと。